

第3期大田原市未来創造戦略の令和6年度事業の進捗状況及び令和6年度企業版
ふるさと納税の実績について

令和7（2025）年11月
大田原市政策推進課

1. 第3期大田原市未来創造戦略の令和6年度事業の進捗状況について

第3期大田原市未来創造戦略は令和6（2024）年度から令和9（2027）年度までの4年計画となっており、人口減少克服と地方創生の実現に向け4つの基本目標を定め、施策ごとに計画期間内を達成期限として重要業績評価指標（KPI）を設定し、目標に対してどれだけ効果を上げているかを評価検証し、年度ごとにPDCAサイクルを実行することとしております。

今回、第3期計画期間の初年度に当たる令和6年度の進捗状況等について検証を行いました。

2. 評価の考え方

各施策におけるKPIの達成状況や取組成果等について現状を評価します。

KPIの評価について、目標達成の状況を次の3段階で評価します。

評価区分	評価基準
◎	目標値を達成している（KPI：100%以上）
○	事業の進展が見られ、順調に実施されている（KPI：80%以上100%未満）
△	事業が遅れているか、停滞している（KPI：80%未満）

3. 評価

(1) KPIの評価（4つの基本目標の具体的施策の評価①）

基本目標	KPI数	◎	○	△	その他
1 活力ある豊かな大田原市をつくとともに、安心して働けるようにする	11	-	9	2	-
2 大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる	14	4	6	4	-
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	10	-	7	2	1
4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な大田原市をつくる	19	3	10	6	-
合計	54	7 (13.0%)	32 (59.2%)	14 (26.0%)	1 (1.8%)

(2) KPIの進捗状況(個別事業の進捗状況②)

※再掲を除く

基本目標	KPI数	◎	○	△	その他
1 活力ある豊かな大田原市をつくとともに、安心して働けるようにする	16	-	9	7	-
2 大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる	16	3	8	5	-
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	17	3	8	5	1
4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な大田原市をつくる	23	2	14	7	-
合計	72	8 (11.1%)	39 (54.2%)	24 (33.3%)	1 (1.4%)

(3) 基本目標の状況

基本目標1 「活力ある豊かな大田原市をつくとともに、安心して働けるようにする」

【数値目標】2027年度までの4年間の累計で240人の安定した雇用を創出する。

【成果指標】4人以上の事業所の従業者数

第1期		第2期				第3期
2018年	2019年	R2(2020)年	R3(2021)年	R4(2022)年	R5(2023)年	R6(2024)年
11,888人 (796)	12,495人 (1,403)	12,683人 (795)	12,462人 (574)	13,435人 (1,547)	14,015人 (2,127)	12,911人 (▲524)

※()内は各戦略の基準年からの累積雇用創出数

【基準年従業者数】第1期2014年：11,092人、第2期2018年：11,888人、
第3期2022年：13,435人

(出典：～R2(2020)栃木県工業統計調査、R3(2021)経済センサス、
R4(2022)～経済構造実態調査)

【現状分析】

- 第2期期間(2020～2023)における累積雇用創出数が2,127人となった理由は、令和元(2019)年12月に誘致企業の大規模工場が操業を開始し、大きな雇用が創出されたためである。
- 第3期初年度の業務用機械器具製造業の雇用人数は前年比▲649人、電気機械器具製造業は前年比▲378人であり大幅な減少があった。労働人口の減少や物価上昇などの雇用情勢に与える影響を踏まえ、引き続き動向を注視していく必要がある。

基本目標2 「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」

【数値目標】 2027年までに転出超過数を50%減少させる

【成果指標】 転入・転出者の状況（社会増減：転入者-転出者）

第1期		第2期				第3期
2018年	2019年	R2(2020)年	R3(2021)年	R4(2022)年	R5(2023)年	R6(2024)年
▲113人 (118人)	▲151人 (▲38人)	28人 (179人)	159人 (131人)	▲181人 (▲340人)	17人 (164人)	▲216人 (▲233人)

※（ ）内は前年度比増減数

（出典：統計係毎月人口調査による集計）

【現状分析】

- ・ 転出者のうち、最も人数の多い年代層は20歳～34歳までの年齢層で全体の60%を占め、特に20歳～24歳の女性の転出超過は107人となっており、若年層の市外への転出傾向は引き続き継続している。
- ・ 企業においては、資材費や人件費などが上昇した影響で求人を控える動きが続くことや、市内企業の経営合理化等により、市内から市外事業所への異動が多かった可能性が考えられる。

基本目標3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

【数値目標】 2027年度までに合計特殊出生率を1.5に回復させる。

【成果指標】 大田原市の合計特殊出生率

第1期		第2期				第3期
2018年	2019年	R2(2020)年	R3(2021)年	R4(2022)年	R5(2023)年	R6(2024)年
1.26 (1.44)	1.23 (1.39)	1.27 (1.32)	1.21 (1.31)	1.15 (1.24)	1.05 (1.19)	未公表

※（ ）内は栃木県の合計特殊出生率

（出典：栃木県保健統計年報）

※令和6（2024）年についての年報公表予定はR7年度中に公表予定

【現状分析】

- ・ 合計特殊出生率は横ばい傾向でやや微減しながら推移している。
- ・ 第2期計画期間を通じて、栃木県の合計特殊出生率を下回ってはいたが、令和4（2022）年は県内14位と順位を上昇させた。（2018年：県内23位）
- ・ 令和3年度以降は、減少傾向が続いており、出生率の回復は見られていない。

基本目標4 「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な大田原市をつくる」

【数値目標】 「大田原市の住み心地に満足している人（住みやすい、どちらかといえば住みやすいとの回答）の割合」及び「大田原市に愛着を持っている人（強く持っている、ある程度持っているとの回答）の割合」を向上させる。

【成果指標】 市民意識調査回答率

第1期	第2期				第3期
2019年	R2(2020)年	R3(2021)年	R4(2022)年	R5(2023)年	R6(2024)年
「住み心地に満足」・・71.3% 「愛着を持っている」・・69.1%	「住み心地に満足」・・68.6% 「愛着を持っている」・・68.4%	(調査未実施)	(調査未実施)	(調査未実施)	(調査未実施)

(出典：大田原市市民意識調査)

※次回調査は大田原市総合計画の見直しにあわせた 2025 年度に調査予定

【現状分析】

- ・ 成果指標は微減となっているが、市民意識調査において、成果指標に準ずる質問項目である【大田原市に住み続けたい】（「ずっと住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」との回答率が 72.7%から、75.1%に向上しているため、本市での暮らしの満足度や愛着については現状を維持できている。

大田原市未来創造戦略事業一覧（令和6（2024）年度実績：令和7（2025）年3月KPI変更後）

基本目標1		活力ある豊かな大田原市をつくとともに、安心して働けるようにする										
数値目標		2027年度までの4年間の累計で240人の安定した雇用を創出する			（評価・進捗状況：◎既に達成・○順調・△遅れている）							
政策パッケージ	具体的な施策	KPI達成状況 【令和6（2024）年度末時点】	第3期 KPI【2027】	① 評価	具体的な事業	指標項目	第3期 基準値 R4（2022）実績	R5（2023） 実績	R6（2024） 実績	第3期KPI 目標値【2027】	② 進捗 状況	
1 新たなビジネスとその雇用創出による地域経済の活性化	(1)起業支援	■支援件数 19件(累計)	■支援件数 100件(4年累計) (68件/2期累計)	△	01 中小企業金融対策事業	創業資金融資件数	10件/年	12件	9件	50件 (4年累計)	△	
	(2)産学官の連携への支援	■産学官連携事業数 0件(累計)	■産学官連携事業数 4件(4年累計) (2件/2期累計)	△	02 起業再出発支援事業	補助金交付件数	9件/年	9件	10件	50件 (4年累計)	○	
					03 産学官連携推進事業	産学官連携事業数	0件/年	0件	0件	4件 (4年累計)	△	
2 分野別地域産業の競争力強化	(1)農業の成長産業化	■販売農家販売金額 1,000万円以上の農家 2024：499戸/年 (課税データより) ■新たな圃場整備事業 着工地区数 5地区(累計)	■販売農家販売金額 1,000万円以上の農家 550戸/年※課税データより (2022:451戸 2023:491戸) ■新たな圃場整備事業 着工地区数 6地区/8地区(累計) (2022 3地区/7地区)	○	04 園芸拡大支援事業	農業施設、機械等導入件数	4件/年	2件	3件	20件 (4年累計)	△	
				○	05 圃場整備事業	新たな圃場整備事業 着工地区数	3地区	1地区	1地区	6地区/8地区 (累計)	○	
				○	06 スマート農業の推進	技術現地検討会等開催支援回数	1回	1回	1回	8回 (4年累計)	△	
				○	07 地方創生道整備推進交付金事業	①市道老朽化対策推進率 ②道の駅農産物直売所年間販売額	① 3.7% ② 491,020千円	① 4.3% ② 495,915千円	① 5.7% ② 536,262千円	① 12.5%(累計) ② 508,322千円/年	○	
	(2)林業の成長産業化	■林業事業者が新規林業就労者へ支給する装備品や機械購入費用の補助 補助件数 4件(2024～) ■スマート林業施業面積 147.5ha(累計)	■林業事業者が新規林業就労者へ支給する装備品や機械購入費用の補助 補助件数 13件(4年累計) 11件(2期累計) ■スマート林業施業面積 250ha(4年累計)	○	08 新規林業就労者支援事業	補助金交付件数	4件	6件	4件	13件 (4年累計)	○	
				○	09 木質バイオマス利用の推進	バイオマス利用量 ※保育間伐(切捨)を行った山林からの未利用材搬出量	未実施	20m³	50m³	100m³ (4年累計)	○	
				○	10 スマート林業の推進	スマート林業施業面積	未実施	30ha/年	147.5ha	250ha (4年累計)	○	
	(3)中小企業への支援及び地域産業の活性化	■製造品出荷額等 633,820百万円(2024年) (2024年経済構造実態調査) ■年間商品販売額 (卸売業・小売業) 109,124百万円 (経済センサス2021調査 2023確報) ■大田原ブランド認定数 8件(累計)	■製造品出荷額等 700,000百万円 (2018県工業統計調査確報 622,101百万円) (経済センサス2021調査 2023確報により検証) ■年間商品販売額(卸売業・小売業) 130,000百万円 (2016経済センサス 121,454百万円) ■大田原ブランド認定数 16件(4年累計) (2期累計:17件)	○	11 産業財産権出願支援事業	補助金交付件数	1件/年	2件	1件	6件 (4年累計)	△	
				○	12 中小企業金融対策事業(再掲)	創業資金融資件数	10件/年	12件	9件	50件 (4年累計)	△	
				○	13 大田原ブランドの推進	ブランド認定数	3件	6件	8件	16件 (4年累計)	○	
3 UIJターンによる人材還流の推進と市内における地域経済の担い手の育成	(1)企業における人材確保支援	■移住支援金交付件数 4件(累計)	■移住支援金交付件数 10件(4年累計)	○	14 移住支援金交付事業	支援金交付件数	4件	2件	4件	10件 (4年累計)	○	
	(2)農林業担い手の育成	■新規就農者数 20人(累計)	■新規就農者数 80人(4年累計) (2022 64人:累計)	○	15 新規就農者育成総合対策事業	①青年等就農計画の認定 ②経営開始資金交付件数 ③経営発展支援事業件数	① 3経営体 ② 2件 ③ 0件	① 0経営体 ② 2件 ③ 0件	① 2経営体 ② 0件 ③ 0件	計画認定 8件 開始資金 6件 支援事業 1件 (4年累計)	△	
				○	16 農地利用効率化等支援事業	事業活用経営体数	4経営体	2経営体	3経営体	12経営体 (4年累計)	○	
				○	17 経営継承・発展支援事業	補助金交付件数	3件	4件	2件	12件 (4年累計)	△	

大田原市未来創造戦略事業一覧（令和6（2024）年度実績：令和7（2025）年3月KPI変更後）

基本目標2		大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる										
数値目標		転出超過数（2022年181人転出超過）を50%減少させる										
		(評価・進捗状況：◎既に達成・○順調・△遅れている)										
政策パッケージ	具体的な施策	KPI達成状況 【令和6（2024）年度末時点】	第3期 KPI【2027】	① 評価	具体的な事業	指標項目	第3期 基準値 R4:2022実績	R5（2023） 実績	R6（2024） 実績	第3期KPI 目標値【2027】	② 進捗 状況	
1 大田原市 への移住・ 定住の推進 とつながり の構築	(1)移住・定住 の推進	■公式ホームページアクセス数 (移住定住・魅力発信) 377,655件/年	■公式ホームページアクセス数 (移住定住・魅力発信) 300,000件/年	◎	01 移住定住サポート事業	ホームページアクセス数 (移住定住・魅力発信)	154,387件/年	276,687件/年	377,655件/年	300,000件/年	◎	
		■イベント開催件数 4回/年	■イベント開催件数 3回/年	◎	02 移住支援金交付事業（再掲）	支援金交付件数	4件	2件	4件	10件 (4年累計)	○	
	(2)大田原市の 魅力発信の強 化	■RESASにおける滞在人口率 (各年4月10時平日・休日 平均：滞在人口/人口) 1.055倍	■RESASにおける滞在人口率 (各年4月10時平日・休日平均 ：滞在人口/人口) 1.6倍 (2018 1.015倍) (2022 1.080倍)	△	03 魅力発信事業	RESASにおける滞在人口率 (各年4月10時平日・休日平均 ：滞在人口/人口)	1.080倍	1.070倍	1.055倍	1.6倍	△	
		■市公式SNS投稿数 6,502件/年	■市公式SNS投稿数 7,000件/年	○	04 ドローン及びSNS等を活用した情報発 信事業	市公式SNS投稿数 (YouTube、Facebook、X、 LINE、よいちメール)	4,576件/年	4,147件/年	6,502件/年	7,000件/年	○	
	(3)地域おこし 協力隊等を活 用した地域活 性化	■地域おこし協力隊 任用数 2人(累計)	■地域おこし協力隊 任用数 5人(4年累計)	○	05 地域おこし協力隊推進事業	隊員任用数	任用数 5人	任用数 3人	任用数 2人	任用数5人 (4年累計)	○	
	(4)関係人口の 創出・拡大	■ふるさと納税件数 8,499件(累計) ■企業版ふるさと納税件数 4件(累計)	■ふるさと納税件数 50,000件(4年累計) ■企業版ふるさと納税件数 12件(4年累計)	△	06 ふるさと納税の推進	ふるさと納税者件数	3,874件	5,357件	8,499件	50,000件 (4年累計)	△	
				○	07 企業版ふるさと納税の推進	ふるさと納税者件数	3件	2件	4件	12件 (4年累計)	○	
				△	08 魅力発信事業（再掲）	RESASにおける滞在人口率 (各年4月10時平日・休日平均 ：滞在人口/人口)	1.080倍	1.070倍	1.055倍	1.6倍	△	
				○	09 グリーンツーリズム推進事業	グリーンツーリズム 参加人数	7,977人/年	11,995人/年	9,871人/年	40,000人 (4年累計)	○	
	2 多様化する 居住ニーズ への対応	(1)ライフスタ イルの多様化 に応じた居住 環境の創出	■有料老人ホーム等の 新規整備戸数 310戸(累 計) ■園場整備事業の進捗率 荒井・町島地区 99.1%	■有料老人ホーム等の 新規整備戸数 310戸(累 計) ■園場整備事業の進捗率 荒井・町島地区 100%	◎	10 空き家等情報バンク推進事業	空き家等情報バンク登録件数	25件(累計)	5件	7件	30件 (4年累計)	○
					◎	11 有料老人ホーム及びサービス付高齢 者向け住宅の整備推進	住宅戸数	270戸	270戸	310戸 (累計)	310戸 (累計)	◎
					○	12 園場整備事業 (荒井・町島地区)	当該地区の園場整備事業 進捗率	荒井・町島 90.1%	荒井・町島 94.3%	荒井・町島 99.1%	荒井・町島地区 100%	○

大田原市未来創造戦略事業一覧（令和6（2024）年度実績：令和7（2025）年3月KPI変更後）

基本目標2		大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる											
数値目標		転出超過数（2022年181人転出超過）を50%減少させる											
		(評価・進捗状況：◎既に達成・○順調・△遅れている)											
政策パッケージ	具体的な施策	KPI達成状況 【令和6（2024）年度末時点】	第3期 KPI【2027】	① 評価	具体的な事業	指標項目	第3期 基準値 R4:2022実績	R5（2023） 実績	R6（2024） 実績	第3期KPI 目標値【2027】	② 進捗 状況		
3 地域資源 を活用した 観光振興	(1)魅力ある観 光地づくり	■観光入込客数 3,113,559人/年 ■グリーンツーリズム参加人数 9,871人（累計）	■観光入込客数 350万人/年 ■グリーンツーリズム参加者人数 40,000人（4年累計） （2022 12,374人/2期累計）	○	13	グリーンツーリズム推進事業（再掲）	グリーンツーリズム 参加者人数	7,977人/年	11,995人/年	9,871人/年	40,000人 （4年累計）	○	
					14	大田原ブランドの推進（再掲）	ブランド認定数	3件	6件	8件	16件 （4年累計）	○	
					15	地域活性化事業への支援	地域活性化組織数	0団体	0団体	2団体	4団体 （4年累計）	○	
	(2)文化・芸 術・スポーツ を活用したま ちづくりの推 進	■文化芸術イベント 来場者数 3,669人/年 ■市内ゴルフ場を利用した ゴルフ大会の参加人数 506人/年	■文化芸術イベント 来場者数 5,000人/年 （2018 4,108人/年） （2022 3,206人/年） ■市内ゴルフ場を利用したゴルフ 大会の参加人数 800人/年 （2018 764人/年） （2022 560人/年）	△	16	黒羽芭蕉の里全国俳句大会	自由題・席題の延べ参加者数	自由題511人 席題118人 計629人	自由題533人 席題133人 計666人	自由題 587人 席題 202人 計 789人	1,000人/年	△	
					17	全国竹芸展	来場者数	2,577人	本展 2,598人 巡回展 312人 計 2,910人	本展 2,569人 巡回展 311人 計 2,880人	4,000人/年	△	
					18	ゴルフのまちづくり推進事業	各種ゴルフ大会の参加人数	560人/年	444人/年	506人/年	800人/年	△	
					19	大田原マラソン大会をはじめとする 各種スポーツ大会	マラソン大会の エントリー者数	未実施	2,682人/年	2,898人/年	3,500人/年	○	
	4 地方大学 等の活性化	(1)高等教育の 充実	■県内大学との連携事業数 64事業/年	■県内大学との連携事業数 60事業/年 （2022 57事業/年）	◎	20	国際医療福祉大学、宇都宮大学、作 新大学・短期大学・文星芸術大学と の連携協定事業	県内大学との連携事業数	国際医療福祉大学 53事業 宇都宮大学 4事業 合計 57事業	国際医療福祉大学 56事業 宇都宮大学 3事業 合計 59事業	国際医療福祉大学 60事業 宇都宮大学 4事業 合計 64事業	60事業/年	◎

大田原市未来創造戦略事業一覧（令和6（2024）年度実績：令和7（2025）年3月KPI変更後）

基本目標3		結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
数値目標		2027年度までに合計特殊出生率を1.5まで回復させる									
		(評価・進捗状況：◎既に達成・○順調・△遅れている)									
政策パッケージ	具体的な施策	KPI達成状況 【令和6（2024）年度末時点】	第3期 KPI【2027】	① 評価	具体的な事業	指標項目	第3期 基準値 (R4:2022実績)	R5（2023） 実績	R6（2024） 実績	第3期KPI 目標値【2027】	② 進捗 状況
1 結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援	(1)結婚支援	成婚件数 2件（累計）	成婚件数 8件（4年累計） （2022 8件（累計））	○	01 結婚支援事業	成婚件数	1件	1件	2件	8件 （4年累計）	○
	(2)地域における子育て支援の充実	■子育て支援施設の利用者数 (つどい、サロン・一時預かり) 12,927人/年 ■子育て環境満足度 (子ども子育て支援調査) 就学前保護者 64.9% 小学生保護者 56.3% (2024年調査)	■子育て支援施設の利用者数 (つどい、サロン・一時預かり) 16,500人/年 (2018 15,266人/年) (2022 10,167人/年) ■子育て環境満足度 (子ども子育て支援調査) 就学前保護者 70% 小学生保護者 65% (2018調査 就学前 62.6% 小学生 58.6%)	△	02 ファミリーサポートセンター事業	会員数及び利用者数 (依頼・提供合算)	会員：95人 利用者：642人	会員：113人 利用者：719人	会員：121人 利用者：736人	会員：300人 利用者：1,000人	△
					03 地域子育て支援拠点事業	年間利用者数	9,090人/年	12,000人/年	11,979人/年	16,500人/年	△
					04 在宅子育て家庭等一時預かり事業	年間利用者数	1,077人	1,099人/年	948人/年	1,500人/年	△
					05 子育て世代包括支援センター事業	この地域で子育てをしたいと思う者の割合（健やか親子21アンケート:3歳児健診）	96.7%	96.1%	97.8%	99.0%	◎
					06 フツ化物洗口事業	中学3年生DMFT指数 (減少指標)	0.81	0.78	0.74	0.70	◎
					07 小児生活習慣病予防健康診査事業	異常なしの割合（小・中）	76.9%	76.9%	75.6%	80.0%	○
	(3)子育てに関する経済支援の充実	■市民意識調査の子どもが欲しい理由「お金がかかるから」との回答率を減らす (次回2025調査による)	■市民意識調査の子どもが欲しい理由「お金がかかるから」との回答率を減らす (2019調査 55.6%) (次回調査2025)	-	08 不妊治療費補助金交付事業	出生率（県保健統計年報より）	5.1	4.7	未公表	5.5	-
					09 生活困窮者学習支援等事業	学習支援等事業参加人数	5会場 46人	5会場 53人	5会場 56名/年	5会場 60名/年	○
	(4)安心して育児ができる環境づくり	■学童保育館定員数 1,394人/年	■学童保育館定員数 1,514人/年	○	10 放課後児童健全育成事業	学童保育館定員数	1,309人/年	1,389人/年	1,394人/年	1,514人/年	○
2 特色ある学校教育の充実	(1)教育活動及び教育支援体制の充実	■英語への意欲を持った児童数生徒の割合 83.0% ■中学3年生の英語検定3級以上の取得率 48.5%	■英語への意欲を持った児童数生徒の割合 90% (2018 83.2%) (2022 83.7%) ■中学3年生の英語検定3級以上の取得率 60%以上	○	11 外国語指導助手(ALT)及び英語活動指導員配置事業	英語への意欲を持った児童生徒の割合	83.7%	84.9%	83.0%	90.0%	○
					12 中学校英語検定実施事業	中学校3年生の英語検定3級以上の取得率	46.8%	46.5%	48.5%	60%以上	○
					13 不登校児童生徒適応指導事業	原籍校復帰率 適応指導教室通級率	原籍校復帰：85.0% 適応指導：11.0%	原籍校復帰：64.0% 適応指導：11.8%	原籍校復帰：94.7% 適応指導：10.8%	原籍校復帰：90% 適応指導：25%	△
					14 学校教育相談員配置事業	不登校児童生徒復帰率	30%	71.1%	70.0%	50.0%	◎
	(1)教育活動及び教育支援体制の充実	■市内小中学校の不登校出現率の減少 ・小学校の不登校率 2.0% ・中学校の不登校率 8.2% (令和5年度) ■全国学力・学習状況調査での「授業におけるICT活用意欲を持つ児童・生徒」の割合 90.9%	■市内小中学校の不登校出現率の減少 ・小学校の不登校率 2.0% ・中学校の不登校率 6.0% ■全国学力・学習状況調査での「授業におけるICT活用意欲を持つ児童・生徒」の割合 95%	○	15 小中学校デジタル環境整備事業	全国学力・学習状況調査での「授業におけるICT活用意欲を持つ児童・生徒」の割合	92.6%	93.3%	90.9%	95.0%	○
					16 青少年交流事業	交流事業派遣受入者数	事業中止	小学生受入のみ13人/年 中学生受入のみ6人/年 高校生派遣 事業中止	小学生派遣のみ17人/年 中学生派遣のみ8人/年 高校生派遣 事業中止	小学生派遣受入各17人/年 中学生派遣受入各6人/年 高校生派遣受入各4人/年	○
3 理想の子育て環境をつくるワークライフバランスの実現	(1)男女が共に心豊かに暮らせる環境の整備	■地域女性活躍推進事業への参加者数 920人/年	■地域女性活躍推進事業への参加者数 1,300人/年 (2018 307人/年) (2022 1,247人/年)	△	17 地域女性活躍推進事業	地域女性活躍推進事業への参加者数	1,247人	1,226人	920人	1,300人/年	△

大田原市未来創造戦略事業一覧（令和6（2024）年度実績：令和7（2025）年3月KPI変更後）

基本目標4		ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な大田原市をつくる										
数値目標		市民意識調査において、住み心地に満足している人の割合及び愛着を持っている人の割合を向上させる「大田原市の住み心地に満足している人(住みやすい、どちらかといえば住みやすい回答)の割合 71.3%」「大田原市に愛着を持っている人(強く持っている、ある程度持っているとの回答)の割合 69.1%」 (評価・進捗状況：◎既に達成・○順調・△遅れている)										
政策パッケージ	具体的な施策	KPI達成状況 【令和6（2024）年度末時点】	第3期 KPI【2027】	① 評価	具体的な事業	指標項目	第3期 基準値 (R4:2022実績)	R5（2023） 実績	R6（2024） 実績	第3期KPI 目標値【2027】	② 進捗 状況	
1 幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛のある協働互恵のまちづくり」	(1)健康づくりの推進によるウェルビーイングの実現	<ul style="list-style-type: none"> ■基本健康診査受診率 47.1% ■Youtube掲載動画視聴回数 372回（累計） 	<ul style="list-style-type: none"> ■基本健康診査受診率 60% (2022 34.2%) ■Youtube掲載動画視聴回数 500回（4年累計） 	△	01	健幸ポイント事業	新規参加者数	317人	332人	287人	350人/年 1,400人 (4年累計)	○
					02	健康長寿都市推進事業	事業参加者数	事業中止 (2019は2,427人/年)	300人	450人	700人/年	△
					03	生活習慣病の発症予防及び重症化予防	基本健康診査全体実績	34.2%	44.7%	60.0%	△	
					04	SNS・動画配信を活用した介護予防の普及推進事業	Youtube掲載動画視聴回数	未実施	未実施	500回 (4年累計)	△	
	(2)地域福祉ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ■安心生活見守り事業における見守り活動件数 77,525件/年 ■申請から処分（認定結果到達）までの日数の短縮 36.6日（年度平均） 	<ul style="list-style-type: none"> ■安心生活見守り事業における見守り活動件数 80,000件/年 (2018 100,688件/年) (2022 79,245件/年) ■申請から処分（認定結果到達）までの日数の短縮 30日（年度平均） 	○	05	安心生活見守り事業	活動件数	79,245件/年	77,468件/年	77,525件/年	80,000件/年	○
					06	介護支援ボランティアポイント制度	ポイント制度の登録者数	104人	102人	100人	○	
					07	認知症サポーター養成講座	認知症サポーター研修受講者数	16,129人 (累計)	17,580人 (累計)	21,100人 (累計)	○	
					08	介護事業所の指定申請等のウェブ入力・電子申請の導入	「介護サービス情報指定申請システム」による申請受付割合	0.0%	0.0%	50.0%	△	
					09	要介護認定業務のDXによる安心の介護サービス提供事業	申請から処分（認定結果到達）までの日数の短縮	34.8日	35.9日	30日 (年度平均)	△	
	(3)誰もが活躍する地域社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■シルバー人材センター会員数 279人 ■優先調達実績 85万円/年 	<ul style="list-style-type: none"> ■シルバー人材センター目標会員数 350人 (2018現在 291人) (2022現在 271人) ■優先調達実績 130万円/年 (2015～2018の年平均 1,237,799円) (2022 870,000円) 	○	10	シルバー人材センター支援	会員数	271人	266人	279人	目標会員数 350人 (累計)	○
					11	障害者優先調達推進事業	優先調達実績	872,991円	757,463円	1,300,000円/年	○	
					12	有料老人ホーム及びサービス付高齢者向け住宅の整備推進（再掲）	住宅戸数	270戸	270戸 (累計)	310戸 (累計)	310戸 (累計)	◎
	(4)再生可能エネルギー等の活用促進と省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■広域クリーンセンター大田原におけるごみ発電の活用 9,088,450kWh/年 ■補助金交付件数 15件(累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■広域クリーンセンター大田原におけるごみ発電の活用 8,610,000kWh/年 ■補助金交付件数 60件(4年累計) (2018 142件/年) (2020～2022 18件/累計) 	◎	13	廃棄物エネルギー活用の推進	クリーンセンターにおけるごみ発電	ごみ発電の開始 (6,104,030kWh/年)	6,350,340 kWh/年	9,088,450 kWh/年	8,610,000 kWh/年	◎
					14	クリーンエネルギー自動車購入費補助	補助金交付件数	10件	10件	60件 (4年累計)	○	
2 小さな拠点の形成による持続可能なまちづくり	(1)バス路線の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■各種公共交通の利用者数 ①市営バス 379,091人 ②デマンド 26,948人 ③関東バス 267,571人 ■各種公共交通の運行本数、対象地域（バスは現状維持） ④市営バス 11路線 ⑤デマンド 現行地区含む 5地区 ⑥関東バス 11系統 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種公共交通の利用者数 ①市営バス 460,000人 ②デマンド 25,000人 ③関東バス 270,000人 ■各種公共交通の運行路線、対象地域（バスは現状維持） ④市営バス 11路線 ⑤デマンド 現行地区含む 5地区 ⑥関東バス 10系統 (地域公共交通網形成計画による) 	◎	15	公共交通の充実	バス等利用者数 路線及び区域運行エリア	<ul style="list-style-type: none"> ①市営バス 378,458人 ②デマンド 25,532人 ③関東バス 241,365人 ④市営バス 11路線 ⑤デマンド 5地区 ⑥関東バス 10系統 	<ul style="list-style-type: none"> ①市営バス 406,269人 ②デマンド 27,833人 ③関東バス 252,233人 ④市営バス 11路線 ⑤デマンド 5地区 ⑥関東バス 10系統 	<ul style="list-style-type: none"> ①市営バス 379,091人 ②デマンド 26,948人 ③関東バス 267,571人 ④市営バス 11路線 ⑤デマンド 5地区 ⑥関東バス 11系統 	<ul style="list-style-type: none"> ①市営バス 460,000人 ②デマンド 25,000人 ③関東バス 270,000人 ④市営バス 11路線 ⑤デマンド 5地区 ⑥関東バス 10系統 	○
					16	交通系ICカードの導入	非接触型決済交通系ICカードの利用可能な市営バス台数	市営バス 0台/19台	市営バス 0台/19台	市営バス 0台/19台	市営バス 19台/19台	△

大田原市未来創造戦略事業一覧（令和6（2024）年度実績：令和7（2025）年3月KPI変更後）

基本目標4		ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な大田原市をつくる										
数値目標		市民意識調査において、住み心地に満足している人の割合及び愛着を持っている人の割合を向上させる 「大田原市の住み心地に満足している人(住みやすい、どちらかといえば住みやすい回答)の割合 71.3%」 「大田原市に愛着を持っている人(強く持っている、ある程度持っているとの回答)の割合 69.1%」 (評価・進捗状況：◎既に達成・○順調・△遅れている)										
政策パッケージ	具体的な施策	KPI達成状況 【令和6（2024）年度末時点】	第3期 KPI【2027】	① 評価	具体的な事業	指標項目	第3期 基準値 (R4:2022実績)	R5（2023） 実績	R6（2024） 実績	第3期KPI 目標値【2027】	② 進捗 状況	
2 小さな拠点の形成による持続可能なまちづくり	(2)小さな拠点づくりの推進	■安心生活見守り事業における見守り活動件数 77,525件/年	■安心生活見守り事業における見守り活動件数 80,000件/年 (2018 100,688件/年) (2022 79,245件/年)	○	17	安心生活見守り事業（再掲）	活動件数	79,245件/年	77,468件/年	77,525件/年	80,000件/年	○
	(2)小さな拠点づくりの推進	■デマンド交通にかかる件数 ①予約アプリからの予約件数 1,010件/年 ②デマンド交通利用者数 26,948人/年 ③デマンド交通利用者満足度 90% ④自動車運転免許証返納件数 281件/年 ⑤高齢者運転免許証自主返納推進事業申請者 117人/年	■デマンド交通にかかる件数 ①予約アプリからの予約件数 10,000件/年 ②デマンド交通利用者数 25,000人/年 ③デマンド交通利用者満足度 80% ④自動車運転免許証返納件数 310件/年 ⑤高齢者運転免許証自主返納推進事業申請者 160人/年	○	18	『見えるね安心』『乗れるよ安心』AIオンデマンドモビリティシステム事業	デマンド交通予約・利用・免許返納者数等	■デマンド交通にかかる件数 ①予約アプリからの予約件数 131件/年 ②デマンド交通利用者数 25,532人/年 ③デマンド交通利用者満足度 33% ④自動車運転免許証返納件数 211件/年 ⑤高齢者運転免許証自主返納推進事業申請者 114人/年	① 588件/年 ②27,833人/年 ③ 81% ④ 248件/年 ⑤ 105人/年	① 1,010件/年 ② 26,948人/年 ③ 90% ④ 281件/年 ⑤ 117人/年	①10,000件/年 ②25,000人/年 ③ 80% ④ 310件/年 ⑤ 160人/年	○
	(3)住み慣れた地域でいつまでも生き生きと暮らせるまちづくり	■40歳以上の転入超過数 51人（2023年） ■住民主体の通いの場の参加者数 1,873人/年	■40歳以上の転入超過数 50人（4年累計） (2018 40歳以上転入超過数 7人/年) ■住民主体の通いの場の参加者数 2,000人/年 (2018 764人/年55か所) (2022 1,744人/年)	○	19	認知症サポーター養成講座（再掲）	認知症サポーター研修受講者数	16,129人（累計）	17,580人（累計）	18,927人	21,100人（累計）	○
3 人口減少による空き家・遊休施設等の有効活用	(1)空き家の有効活用	■空き家情報バンク登録件数 7件（累計）	■空き家情報バンク登録件数 30件（4年累計） (2018 登録累計25件) (2022 登録累計19件)	○	21	空き家等情報バンク推進事業（再掲）	空き家等情報バンク登録件数	5件	5件	7件	30件（4年累計）	○
	(2)公共施設等の適正管理	■個別施設計画対応棟数 24棟（累計）	■個別施設計画対応棟数 234棟（4年累計）	△	22	大田原市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の推進	個別施設計画対応棟数	15棟	10棟	24棟	234棟（4年累計）	△
4 定住自立圏の取組による圏域の活性化	(1)定住自立圏における連携事業の推進	■八溝周辺地域定住自立圏の定住人口 257,196人	■八溝周辺地域定住自立圏の定住人口 271,744人 (2018 274,847人) (2022 265,183人) ※共生ビジョンで定めたもの	△	23	八溝山周辺地域定住自立圏事業および那須地域定住自立圏事業	連携事業(負担金事業)参加者数	14,596人/年	2,040人/年 (累計16,902人)	3,277人 (累計3,277人)	8,000人 (4年累計)	○
5 市民が担い手となる地域防災体制の充実	(1)災害予防対策の充実と消防力の充実強化	■防災士養成講座受講者数 33人（累計） (養成講座開始後累計343人) ■消防団員充足率 108.2%	■防災士養成講座受講者数 60人（4年累計） (養成講座開始後累計310人) ■消防団員充足率 100% (2018 89.8%) (2022 87.7%)	○	24	防災士養成推進事業	防災士養成講座受講者数	13人	15人	33人	60人 (4年累計)	○
					25	自主防災組織結成推進事業	自主防災組織結成数	125自治会 (累計)	128自治会 (累計)	132自治会 (累計)	132自治会 (累計)	○
					26	消防団員確保対策	消防団員充足率	87.7%	110.2%	108.2%	100.0%	◎
					27	災害等の情報発信手段のデジタル化	火災、気象情報発信件数	965件/年	1,172件/年	1,211件/年	1,100件/年	○

令和6年度企業版ふるさと納税の実績について

○企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除がされる仕組みです。

本市では、未来創造戦略で定めた4つの基本目標を実現するため、令和3年3月31日付けで、内閣府より「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附を行った法人に対する特例（地方創生応援税制）」を活用した地域再生計画の認定を受け、企業版ふるさと納税による寄附を募集しています。

○令和6年度の実績（4件）

企業名	秋田マテリアル株式会社（秋田県にかほ市平沢字深谷地16番8）
寄付金額	1,000,000円
寄附活用事業	「全国将棋サミット 2024」事業に対する寄附として受領し、プロ棋士によるトークショーや記念席上対局、歴史文化ツアーの開催経費に充当
寄附年月日	令和6年6月12日
備考	

企業名	日本フェルト株式会社（東京都北区赤羽西1-7-1）
寄付金額	500,000円
寄附活用事業	「不妊治療費補助金交付事業」及び「新生児聴覚検査費助成事業」に対する寄附として受領し、希望する妊娠出産及び新生児の聴覚障害の早期発見、早期療養の充実を図るための事業費に充当
寄附年月日	令和6年7月1日
備考	栃木工場（大田原市寒井1467）

企業名	タレントスクエア株式会社（東京都）
寄付金額	100,000円
寄附活用事業	「子ども未来館管理運営事業」に対する寄附として受領し、「子ども未来館」の管理運営費に充当
寄附年月日	令和6年11月1日
備考	

企業名	株式会社ダイナム（東京都荒川区西日暮里 2-27-5）
寄付金額	1,000,000円
寄附活用事業	「文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進」及び「学生の地域活動への参加」に対する寄附として受領し、「くろばね紫陽花まつり」における剪定・植栽のボランティアに係る経費及び「大田原マラソン大会」の運営ボランティアに係る経費に充当
寄附年月日	令和7年1月31日
備考	